

## 〔第2議案〕

## 平成30年度事業報告書

〔平成30年2月1日より平成31年1月31日まで〕

## ○事業報告

## 1. 学術講演会、研究会等の開催（定款第5条1項の1）

- ・一般社団法人日本内科学会平成30年定時総会  
開催日 平成30年4月13日（金）  
会場 京都市・京都市勧業館 参加人数 39,523人（委任状含）
- ・第115回日本内科学会講演会  
会長 河野 修興（広島都市学園大学・広島大学名誉教授）  
会期 平成30年4月13日（金）～15日（日）  
会場 京都市・京都市勧業館，ロームシアター 参加人数 30,838人  
会長講演，招請講演5題，特別講演，シンポジウム3題，パネルディスカッション，教育講演20題，一般演題490題，CPC，男女共同参画企画公開シンポジウム，医学生・研修医の日本内科学会ことはじめ
- ・第46回内科学の展望  
会長 熊ノ郷 淳（大阪大学）  
開催日 平成30年12月2日（日）  
会場 大阪市・大阪国際会議場 参加人数 1,345人  
「内科医，general physicianに必要な免疫・炎症学update」をテーマに開催した。
- ・支部の事業として行う学術集会（地方会）は，北海道，東北，関東，信越，東海，北陸，近畿，中国，四国および九州の10支部において計35回の講演会を開催した。

## 2. 学会誌、学術図書の発行（定款第5条1項の2）

- ・学会誌「日本内科学会雑誌」を下記の通り発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成30年2月10日	107	2	106,500部
2月20日	107	臨時増刊	106,300部
3月10日	107	3	106,500部
4月10日	107	4	107,000部
5月10日	107	5	109,000部
6月10日	107	6	110,100部
7月10日	107	7	110,400部
8月10日	107	8	110,400部
9月10日	107	9	110,500部
10月10日	107	10	110,600部
11月10日	107	11	111,000部
12月10日	107	12	111,500部
平成31年1月10日	108	1	111,800部

- ・学術刊行物「Internal Medicine」は電子ジャーナルのみで発行し，一般公開した。

## 3. 研究及び調査の実施（定款第5条1項の3）

- ・認定内科医および総合内科専門医の臨床研修に必要な一定規模と教育環境を有する施設の調査を実施した。

## 4. 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第5条1項の4）

- ・第31回内科学会奨励賞（10名）の受賞者を表彰した。

  - 高張 康介：「胃粘膜に認められる数石状所見—プロトンポンプ阻害薬との関連」
  - 渡辺 真：「Pre-diabetic patientsにおける冠動脈疾患の重症度と血糖日内変動の関係」
  - 福岡 勇樹：「糖尿病・内分泌内科における高齢者糖尿病のサルコペニアの調査研究」
  - 西尾信一郎：「高尿酸血症は慢性腎臓病と高血圧発症のリスク因子 [8年間のコホート研究]」
  - 岡田 木綿：「日本人に対する一秒率正常下限値基準を用いた気流制限評価はCOPD併存肺癌外科手術症例における術後アウトカムのリスク階層化をもたらす」

- 蒔田 真一：「結節性リンパ球優位型ホジキンリンパ腫（NLPHL）患者17人に関する臨床的検討」  
 篠田 絃司：「日本人多発性硬化症における皮質病巣数はHLA-DRB1\*04：05により規定される」  
 川尻 真也：「バイオマーカーと超音波指標で解析する関節リウマチにおける生物学的製剤治療の有効性の評価」  
 江原 弘貴：「Stenotrophomonas maltophilia菌血症の臨床的特徴—2施設における検討—」  
 笠原 佑記：「網羅的遺伝子発現解析による進行・再発大腸癌の免疫学的特徴の検討」

#### 5. 認定医及び認定施設の認定（定款第5条1項の5）

- ・認定医を下記の通り認定した。  
   認定内科医：3,187名  
   総合内科専門医：3,559名
- ・教育施設を下記の通り認定した。  
   大学病院：80施設  
   一般教育施設：398施設  
   教育関連施設：722施設

#### 6. 生涯学習活動の推進（定款第5条1項の6）

- ・生涯教育講演会を下記の通り開催した。  
   平成30年度生涯教育講演会Aセッション  
   会 長 大澤 春彦（愛媛大学）  
   第1回 開催日 平成30年5月20日（日）  
   会 場 大阪市・大阪国際会議場 参加人数 3,014人  
   第2回 開催日 平成30年9月30日（日）  
   会 場 松山市・松山市総合コミュニティセンター 台風接近により中止
- 平成30年度生涯教育講演会Bセッション  
   会 長 宮嶋 裕明（浜松医科大学）  
   第1回 開催日 平成30年6月17日（日）  
   会 場 大阪市・大阪国際会議場 参加人数 2,137人  
   第2回 開催日 平成30年11月4日（日）  
   会 場 静岡市・グランシップ静岡 参加人数 530人
- ・各支部主催の生涯教育講演会は10支部において計23回開催した。
- ・専門医部会企画による教育セミナーを10支部で計24回開催した。
- ・A・Bセッションの講演についてオンデマンド配信を行った。
- ・セルフトレーニング問題を実施した。参加人数 14,900人

#### 7. 救急救命講習会の開催（定款第5条1項の5及び6）

- ・内科医の質の向上のための救急救命講習会を9回、指導者講習会を9回開催した。

#### 8. 関連学術団体との連絡及び協力（定款第5条1項の7）

- ・日本医学会連合、日本専門医機構、内科系学会社会保険連合、日本医療安全調査機構等の活動に積極的に参画した。

#### 9. 国際的な研究協力の推進（定款第5条1項の8）

- ・国際内科学会及び米国内科学会の活動に積極的に参画した。

#### 10. 社会に対する内科学の進歩の普及及び医療への啓発活動（定款第5条1項の9）

- ・禁煙推進学術ネットワーク、アルコール健康障害対策基本法推進ネットワークの活動に参画した。
- ・市民公開講座  
   会 長 三嶋 理晃（大阪府済生会野江病院）  
   開催日 平成30年4月15日（日）  
   会 場 京都市・ロームシアター京都 参加人数 100人  
   「市民のためのがんセミナー『がんの早期診断と治療の夢』」をテーマに開催した。

### 11. 新専門医制度の実施、運用（定款第5条1項の5及び10）

- ・新専門医制度の円滑な実施、運用に注力し、特に内科専攻医の研修履歴及び実績の登録、その評価と専攻医のさらなる育成など専攻医登録評価システム（J-OSLER）の管理・運営を行った。

### 12. その他目的を達成するために必要な事業（定款第5条1項の10）

- ・WEBによる情報発信、各種コンテンツの提供、学会業務のシステム化などの情報化を段階的に推進した。
- ・日内会館の管理・運営等を行った。

## ○庶務の概要

### 1. 総会

平成30年4月13日、京都府京都市左京区岡崎成勝寺町9-1 京都市勧業館にて平成30年定時総会を開催し、平成29年度事業報告、会計決算報告、平成30年度役員の選任等を審議決定した。

### 2. 役員に関する件

平成29年度をもって理事を任期満了となる門脇 孝、磯部光章、滝川 一、矢富 裕、武田 純、高山哲治、赤司浩一に代わって、再任として矢富 裕、新任として小室一成、福田恵一、持田 智、清水雅仁、寺田典生、北園孝成の計7名を選任した。

また、平成29年度をもって監事を任期満了となる小澤敬也、岡山昭彦に代わって、新任として門田淳一、長谷部直幸の2名を選任した。

### 3. 役員会等に関する件

役員会等について下記の通り開催した。

- (1) 評議員会 平成30年4月12日
- (2) 理事会 平成30年3月23日、4月13日（臨時）、5月11日、9月20日、12月11日
- (3) 会計監査会 平成30年3月13日

### 4. その他の委員会等

各種委員会等について下記の通り開催した。

- (1) 日内会誌編集会議 3回、英文誌編集会議 1回
- (2) 認定医制度審議会 3回、試験委員会 2回、問題作成委員会等
- (3) 学会在り方検討委員会 1回
- (4) 学術集会運営委員会 3回
- (5) 生涯教育委員会 2回
- (6) 総務委員会 3回、利益相反委員会 1回
- (7) 財務・組織管理委員会 5回
- (8) 支部代表者会議 1回

### 5. 資格認定試験

下記の資格認定試験を実施した。

- (1) 第34回認定内科医資格認定試験
- (2) 第46回総合内科専門医資格認定試験

## ○会員状況

平成29年度末会員数	111,488名
平成30年度新入会員数	3,213名
平成30年度除退会員数	1,244名
平成30年度逝去会員数	248名
平成30年度末会員数	113,209名
前年度より	1,721名増

（平成31年1月31日現在）